

総合クラブひろかわ

新年おけましておめでとうございます

健やかに新年をお迎えのことと存じます。謹んで新春のお喜びを申し上げます。

「総合クラブひろかわ」は今年、発足して9年を迎えます。今年度は春のウォーキング（太閤道・石人山古墳）や秋の鍛錬遠足（明星山・東福寺観音堂）、クリスマスコンサート（グランバードによる演奏や歌）、定例教室（リクゼーションヨガ、吹き矢、自彊術）など、多岐にわたって活動してきました。

今年も町民の皆さんとともに、健康増進や仲

間づくりの輪を広げていきます。ご支援・ご協力をお願いして、新年のごあいさつとします。

総合クラブひろかわ会長 稲員信幸



総合クラブひろかわ役員一同▶

〒総合クラブひろかわ事務局（教育委員会事務局生涯学習係内） ☎0943-32-0093

広川文芸

ひろかわ俳句会



冬空に阿蘇の噴火を遠くみる
男郎花えだ先広げ咲き誇る
園児等は散るもみじ葉を手裏剣に
舞ひ落ちる銀杏黄葉に燥ぐ子等
山頂に漱石句碑や翺雲
待つことのうれし冬芽の目覚むるを
冬めくや荒れ放題の段畑
凜として一夜かぎりの月見草
散歩道声かけ合へり霜月夜
通学路列なす子等に金木犀
嫁から孫つなぐ晴着や七五三
溪谷の木漏日ゆるる照もみぢ
焼きガキの潮の匂ひや漁船過ぐ

野中 勝美
渡辺 弘子
一瀬砂智子
水本 辰次
水本 艶子
柴田 真理
酒井 司
福田美知子
美座 時朗
結束 節子
青木佳代子
原口 正信
原口あつ美

櫻の会

着飾りて千歳飴もつ家族連れ無垢なる子等の幸せ祈る
澄み渡る大観峰に求め来し菓子食み終る秋寒の午後
青天なり障子張りかへ老二人こころ忙しき年の暮なり
園児らは銀杏の森でかくれんぼ顔をのぞかせそと手を振る
阿蘇路ゆく尾花開花しゆらゆらと佳麗広野を白に染めぬる
コロナ禍に自粛中下の作品展励ましの客まばらまばらに
たそがれて初冬の雨に亡母偲ぶ昔話を続けるやうに
十三と七歳姉妹の宮参り桃とむらさき寄り添ひて愛し

一瀬砂智子
中倉 明美
中嶋 玉子
瀧武美智子
細川 徳子
野中 勝美
山崎美代子
青木佳代子

まちのわだい



訓練で火災発生時の動きを再確認 広川町消防団

11月21日(日)、広川町消防団が竜光寺公園で秋の全団員訓練を行いました。今回の訓練では火災を想定した中継訓練、消火訓練、小隊訓練などを実施。中継訓練では、消防ポンプ車3台を使い、火災が発生したときの動きや消防ポンプ車の機械操作を再確認しました。

女性消防団員はVR消火訓練シミュレータを使い、さまざまな火災現場を想定した消火訓練を疑似体験しました。煙体験ハウスでは、火災が発生して煙が充満する室内を体験。「煙は上から下にだんだんたまっていくため、有害ガスを含む煙を吸わないよう低い姿勢でいることが大切であること」などを学びました。

募金活動を実施

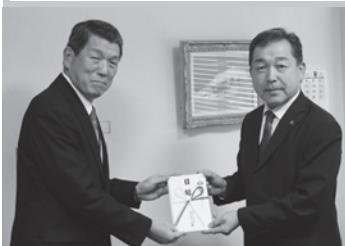
ジュニアリーダークラブ

町内在住の中学生ボランティアグループであるジュニアリーダークラブは、今年もコロナ禍の中、子どもの遊び場プロジェクト「ハコボックス」で、運営のお手伝いや、来場の子どもたちを対象とした工作コーナーの開催、募金活動などを行っています。7月から行われている大雨災害義援金の募金活動では、ハコボックスのほか、チャリティーゴルフの会場でも多くの皆さんに募金をいただきました。今年度の募金額は11月14日(日)現在で7万9880円。このお金は役場内の「令和3年大雨災害義援金」の募金1803円とあわせて、町から日本赤十字社へ送られる予定です。



青少年健全育成のため図書寄付

筑後信用金庫



吉田常勤理事は「学校図書館蔵書の充実と、今後の学校における読書活動や青少年の健全育成に活用いただきたい」と話していました。

11月12日(金)、筑後信用金庫から町内の小学校へ、計24冊(6万円分)の図書が寄付されました。筑後信用金庫からの寄付は今回で8回目。毎回その時代に即した図書が選書されており、今回は食育に関する本などが多数寄付されました。

青少年育成のため100万円寄付

江口自動車工業(株)



町立図書館では、寄付金で随時購入した本に「江口文庫」のシールを貼り、図書館入り口近くの新刊コーナーに置く予定です。

11月11日(木)、江口自動車工業(株)から広川町教育委員会へ100万円が寄付されました。寄付金は「広川町の青少年育成に活用してほしい」という希望から、広川町立図書館や町内小中学校の図書購入に活用し、子どもたちの読書推進に役立てられます。

親子でワークショップ

広川チルドレンズパーク mini

11月14日(日)、広川町産業展示会館と公園「まち子のおにわ」で、遊び場サポーターによるイベント「広川チルドレンズパークミニ」が開催されました。

当日は人数制限を設けるなど、規模を縮小して実施。通常のハコボックス（幼児から小学校低学年向けの遊具）に加え、産業展示会館屋外スペースでダンボール迷路や、小麦粉粘土・スライムの作成などのワークショップも行われました。会場内に隠れたキーワードをすべて見つけるとプレゼントがもらえる「キーワードハンティング」では、お菓子やおもちゃなどをもらい、喜ぶ子どもたちの姿がありました。



久留米かすりコンテストで最優秀賞

古田姫菜さん

11月8日(月)、広川町産業展示会館で「第2回久留米かすりデザインコンテスト」の表彰式が行われました。当コンテストは、久留米緋への関心を高めようと、広川町観光協会が反物のデザインを公募したもので、78点の応募の中、久留米市在住の小学4年生古田姫菜さんが最優秀賞を受賞しました。

姫菜さんは「コロナで好きな桜を見に行けなかったから」と、青空に咲き誇る桜をイメージした柄をデザイン。表彰式では、実際にそのデザインの反物で作られた着物を着て「コロナで会えていないおじいちゃん、おばあちゃんにも見せたいです」と話していました。



ボランティア活動で表彰

野中勝美さん



11月26日(金)、古賀区の野中勝美さんが、(一社)日本善行会の秋季善行表彰を受けました。野中さんは朗読ボランティアや子育て支援、教育活動の支援など、20年以上町の活動に貢献。野中さんは「活動を通して地域の人や子どもたちから顔を覚えてもらい、町中でも話しかけてもらえることがうれしい。『次はいつくるの?』『また来てほしい』といった言葉がやがていづながっている」と話していました。

親の仕事作文で3位入賞

小柳結菜さん



11月23日(祝)、子どもたちが働いている親の姿を見に行く「子どもお仕事参観デー」の参加者による作文コンテストで、中広川小学校1年生の小柳結菜さんが3位に入賞しました。今回のお仕事参観デーは35の企業・団体が協力し、幼稚園児から中学生まで384人が親の仕事を見学。美容師であるお母さんの仕事を見た結菜さんは「こんなに上手に髪を切れるのは、たくさん勉強してきたからだと思いました」と話していました。



協働で枝木伐採・課題解決

地域×九州電力送配電(株)×(株)九電工×FDS(株)

11月16日(火)、小椎尾区・逆瀬谷区・梯区の地域住民や九州電力送配電(株)・(株)九電工、FDS(株)など計33人が協働し、県道湯の原合川線沿いの枝木を伐採しました。
道路へせり出した枝木は、通行時の障害になるほか、強風などで落下し、通行止めや停電の原因となります。今回の協働作業は、地域が抱えるこれらの課題を解決するため、一昨年から行われているものです。
当日は高所作業車を使って伐採し、参加者が協力して積み込み・運搬しました。地域住民からは「このような場所のほかにもあるので、ぜひ来年も行いたい」といった声が聞かれました。

環境対策のため電気自動車寄付

吉永商店(株)

12月10日(金)、吉永商店(株)から広川町へ電気自動車が寄付されました。広川町の公用車としては初めての電気自動車になります。電気自動車を充電するための電源工事も吉永商店(株)によって行われました。
吉永代表取締役社長は「当社では2年前からSDGs(持続可能な開発目標)に取り組んでいる。脱炭素化に向けて広川町でも電気自動車を活用していきたい。そしてほかの市町村の見本となるよう、先進的な取り組みをしてほしい」と話され、渡邊町長は「再生可能エネルギーの活用を検討し、環境にやさしいまちづくりをしていきたい」とお礼の言葉を述べました。



税についての作文で表彰

大津菜花さん・安則沙絢さん



11月15日(月)、広川中学校で「税についての作文」の表彰式が行われました。これは将来を担う中学生に税への理解を深めてもらうと、八女税務署が作文を募集したもので、八女税務署管内の10校から621編の作品が寄せられ、広川中学校3年生の大津菜花さん(写真左から2番目)が「広川町長賞」、安則沙絢さん(写真左から3番目)が「広川町教育長賞」を受賞しました。

教育行政の発展に貢献し表彰

吉住前教育長



11月14日(日)、JR九州ホールで「福岡県教育文化表彰式」が開催され、吉住政子前教育長が福岡県教育委員会から表彰されました。この表彰は、吉住前教育長の学校運営協議会の発足や小規模特認校制度の導入、放課後学習活動「学び道場」の実施など、教育行政の振興への功績が認められたことによるもので、10月27日(水)には文部科学大臣から「地方教育行政功労者表彰」を受けています。